

# 第1回学校運営協議会での委員からの主な意見

平成29年4月25日（火）

- ・中山道クリーンキャンペーンでは、子供達が地域に入ってくれ、地域と接触できた。地域の人の中学生を見る目が変わった。ありがたい。
- ・サクラソウは、生徒が直に持ってきてくれ、孫に会えるようで楽しみにしている人が多くいた。「感動した。涙が流れた。」という声が聞けた。お菓子をあげたあげないがあり、どうしたものかと考えさせられた。また、あげる人をもう少し絞った方がよいと感じた。一人が多くの人に渡すのは大変なので。
- ・子供が、事業所の前で、サクラソウの渡し方を練習していた。よい光景であった。
- ・中学生が地域のゴミを拾いながら登校する姿を見た。感心した。
- ・L J H Sとして、生徒が自信を持っている。あいさつがいいので自信につながっている。
- ・社会体験チャレンジで来てもらっているが、目的を果たせる子とそうでない子がいる。事業所とすると一人一人の子に目的を達成させてあげたい。
- ・地域に、小さな子供を怒鳴っている家がある。どうしたものか。  
※虐待については、通告義務がある旨伝える。
- ・サクラソウでは、短期間であったが、地域と学校が連携して、壁を乗り越えた。多くの方に喜んでいただけた。
- ・主任児童委員としては、陽の当たらない人に気を付けたい。学校を休んでいる子や家庭を支援していきたい。  
※幡中でも、かなりの人数で長期欠席者がいる旨伝える。
- ・卓球部が、体育館工事中に幡羅公民館の体育館を利用した。はじめにみんなで並んできちんと礼をしてくれた。礼儀正しく、立派である。
- ・地域に住んでいるが、平成15年くらいは、壁に落書きが2割ある学校はダメであった。今は学校が洗練されているが、泥臭さも必要。部活動を活発に行っているのがよい。部活動が盛んな学校は、学力も上向きになる。市教委では授業スタンダードを示しているが、独自性、幡羅中らしさが欲しい。また、グランドデザインの中に、コミュニケーション能力や課題発見・解決能力が示されるとよい。
- ・下校時、細い道になると自転車が横並びになる。指導して欲しい。
- ・深谷市の総合計画は10年目を迎え、「笑顔と元気」を生み出す。防災関係でも、これからは中学生が助けるなど、その活躍が求められる。